

令和5年度第2回協和地域協議会会議録

令和5年9月12日

協和地域協議会

令和5年度第2回協和地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■次 第	1
■開 会	2
■会長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■報 告	
(1) 協和地域振興計画の進捗状況について	2
(2) 彩色千輪プロジェクト事業の進捗状況について	3
(3) 地域枠予算申請状況について	3
(4) 協和地域の行事等について	5
■その他	6
■閉 会	12

令和5年度 第2回協和地域協議会 会議録

■日 時：令和5年9月12日（火） 午後3時00分

■会 場：協和支所4階 大会議室

■出席委員：8名

伊藤 慎一、安田 正一、佐川 亜希子、滝沢 洋子、
新山 千加子、茂木 靖雄、加藤 弘栄、今野 珠希

■欠席委員：6名

武藤 秀一、武田 春樹、藤原 保子、茂木 美竹、
豊嶋 一郎、今野 幹雄

■出席職員：7名

俵谷 憲朗（協和支所長）、佐川 亜希子（市民サービス課長）、
佐川 悦章（農林建設課長）、加藤 薫（西仙北・協和建設水道事務所長）、
小林 正（協和公民館主幹）、加藤 登志美（地域活性化推進室主幹）、
千葉 桜子（地域活性化推進室主事）

■次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報 告
 - (1) 協和地域振興計画の進捗状況について
 - (2) 彩色千輪プロジェクト事業の進捗状況について
 - (3) 地域枠予算申請状況について
 - (4) 協和地域の行事等について
- 4 その他（水害被害報告 等）
- 5 閉 会

(午後 3 時 00 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 加藤主幹

本日は大変お忙しいところ、ご出席くださいまして誠にありがとうございます。
ただいまから第 2 回協和地域協議会を開会いたします。
主催者を代表しまして伊藤会長が皆様にご挨拶を申し上げます。

○伊 藤 慎 一 会長 (以下「会 長」と表記)

はい。毎日のような暑さですが、今週はくもりと傘のマークが大分出ているようですので、少しは涼しくなるかなと思っているところではありますが、そうしますともうすぐ短い秋が来て、その少し後には今度は雪という、これもまた厄介な時期が来るわけですが、こういう毎日の気温の変化、天候の変化、そしてまた季節の変わり目に十分に体力を備えて、この時期を乗り越えてやっていこうかなと思っているところがあります。

そういうことで今日もどうかよろしく、最後までお付き合い願います。

○事務局 (地域活性化推進室) 加藤主幹

本日は委員定数 14 人中 8 人と 2 分の 1 以上の方が出席されておりますので、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 8 条第 3 項の規定により、会議は成立していることをご報告いたします。

この後は、次第に則りまして、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第 8 条第 4 項の規定により、伊藤会長が議事進行を務めます。

○会 長

それでは、次第に入る前に「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。
会議録署名委員には、滝沢 洋子 委員 と 新山 千加子 委員 をお願い致します。

それでは、次第に従い進めてまいります。

(1) 協和地域振興計画の進捗状況について、各課長の方からご報告願います。

○俵谷支所長 (地域活性化推進室)

【 (1) 協和地域振興計画の進捗状況について 】説明 資料 1

○佐川(亜)課長 (市民サービス課)

【 (1) 協和地域振興計画の進捗状況について 】説明 資料 1

○加藤所長（ 西仙北・協和建設水道事務所 ）

【 (1)協和地域振興計画の進捗状況について 】説明 資料1

○佐川(悦)課長（ 農林建設課 ）

【 (1)協和地域振興計画の進捗状況について 】説明 資料1

○小林主幹（ 協和公民館 ）

【 (1)協和地域振興計画の進捗状況について 】説明 資料1

○会 長

はい、ありがとうございました。

これまでの報告で何か皆様方、ご意見ございませんでしょうか。

なければ、次に移ります。(2)彩色千輪プロジェクト事業の進捗状況について、事務局の方からご説明願います。

○事務局（ 地域活性化推進室 ） 加藤主幹

【 (2)彩色千輪プロジェクト事業の進捗状況について 】説明 資料2

○会 長

はい。ありがとうございました。

ただいまの件について、何かご意見等ございませんでしょうか。

なければ、(3)地域枠予算申請状況について、これも事務局の方からよろしくお願ひいたします。

○事務局（ 地域活性化推進室 ） 千葉主事

【 (3)地域枠予算申請状況について 】説明 資料3

○会 長

はい。ありがとうございました。

ただいまの件について、何かお聞きになりたい点ございませんでしょうか。

○安 田 正 一 委員

地域枠も予算は確保しているとは思いますが、今紹介されたのが10件ですよね。10件の補助金の申請額をトータルすればどのくらいになりますか。先程の説明の中で、まだ可能性があるところがあれば出してくださいと、その辺り、何件ほどの見通し、多分30万の枠だと思いますが、予算枠というのはどの程度あるのですか。

○俵谷支所長

今現在、今年度の予算枠としては、30万円の補助金上限分で3件程度、申請を受ける余裕がある見込みでございます。

○安田正一 委員

コロナ明けで、ぎりぎり元年まではやっとなんてやってきた事業がコロナでばったりいって、今の予算で復活してきているような継続的な事業が多いようだ。

新規の事業（協和は通過点じゃない。事業）が最初ですよ、これは会場が大安閣で実施された事業ですよ。こういう若い人たちは頼もしい。これは音楽イベントなんですか。

○俵谷支所長

市民の有志による実行委員会が企画したもので、トラックステージでの音楽ステージや、キッチンカー、地域の特産品等の販売もあり、様々な企画が準備されたイベントでありました。

○安田正一 委員

良いことだと思います。以上です。

○会 長

はい、ありがとうございます。

○加藤弘栄 副会長

その日はちょうど道の駅のイベントとも重なってしまった。実行委員の方と話をし、来年度は情報共有をしながら、日程をずらしながらやれば、毎週協和に来てもらえるのではないかと話をした。どちらにも関わることが出来るので、来年はどちらが先の週になるか分からないが、同じ週ではなく実施した方がいいかなという話はこの間しました。

○会 長

これからずっと継続して、少しずつ大きくして、内容を充実してっていうような形になっているのでしょうか。

○加藤弘栄 副会長

だと思います。まず1回目が盛況だったようなので。

○俵谷支所長

実行委員会の方では、今回まず好感触だったので出来れば継続したいというような意向をお聞きしました。また来年度以降、どういう企画でくるのか楽しみにしてもらえればと思います。

○会 長

なかなかネーミングは悪くないと思う。逆にいえば、集まりやすいというところもある。市長は、高橋 優の時(秋田 CARAVAN MUSIC FES 2019)も、協和は、人は来るからって。秋田からも近いし、由利本荘からも来る、角館それから岩城方面からも来れる、県南からも集まれる。高橋 優の時、協和が一番人集まったって、そういうふうに使われたと、逆にいえば人は集まりやすいところだというふうにも、市長は言っていた。

このことについて、他に何かご質問ありませんでしょうか。

なければ、(4)協和地域の行事等について、支所長の方から報告願います。

○俵谷支所長

【 (4)協和地域の行事等について 】説明 資料4

○会 長

はい、ありがとうございます。

行事の報告ですが、何かお聞きになりたい点ございませんでしょうか。

○安 田 正 一 委員

6月26日の協和振興開発公社定時株主総会ですが、総会は総会でしょうが、「四季の湯」の運営関係について色々なお話がなされているようで、その辺り、地域住民として、あそこが宴会など廃止になると大変困ると皆さん言っております。聞くところによると、今年度中はやってもいいがその先は分からないような話もあるようで、状況等 教えていただければと思うが。

○俵谷支所長

定時株主総会の席では、決算状況等の報告がメインでしたので、今後の経営方針等については協議されなかったわけですが、開発公社の方で赤字経営が続いているために、経営を縮小したいと。地域住民の方からも、できればレストラン・宿泊等 今まで通り継続して欲しいという意見もございまして、住民説明会を開催した経緯もございまして。ただ、その際の回答としては、今年度いっぱいは今まで通りの運営をします。

○俵谷支所長

その先については、また方針、指定管理の更新の時期にもなりますので、また同じ開発公社の方が引き続き受け持つといいますか、そうなった場合の運営については、会社としての方針もあると思いますので、その辺りは地域住民の要望も考慮して今後考えるというようなことであります。

ただ、更新の際に手を挙げる業者がいくつかあれば、運営方針やプレゼンの内容によって業者が決定されるわけですので、住民の意向に沿ったような運営ができれば良いなと思っておりますが、今後の具体的な運営については、こちらからは申し上げれないということでございます。

○安 田 正 一 委員

地域住民というのは協和地域、それから秋田市からも随分お客さんも来ていたので、立地条件としてそういう条件になっていますし、その辺りのサービス関係についてお客さんなり、地域住民の要望に沿った方向で、行政の方もなんとか支援していただきたいと思う。どうかよろしくお願いします。

○俵谷支所長

はい。分かりました。ありがとうございます。

○会 長

他に何かございませんでしょうか。

○加 藤 弘 栄 副会長

7月の大雨の時の被害状況について、協和地区内ではどういうところに災害があったのかなど。自分達の住んでいる場所は大体分かるが、全体的に様々な被害があったと思うので、ちょっと教えていただければと思います。

○俵谷支所長

【 大雨による被害報告 】 説明

○西仙北・協和建設水道事務所 加藤所長

【 大雨による被害報告 】 説明

○農林建設課 佐川(悦)課長

【 大雨による被害報告 】 説明

○加 藤 弘 栄 副会長

ありがとうございます。

○会 長

私の方からも1つ、今大雨の話が出ましたので。

峰吉川と上淀川に避難指示ということで、テレビにずっと流れていた。3日ぐらいだったと思うが、誰も避難した人がいない。私は、町内会長もやっているが、私の方にもなんらそのような指示が来たわけでもないし、寝耳に水の状態、上淀川の人もどこで誰が何したというような電話がしょっちゅうあって、何であるような状態になったのか。一般的に、避難は空振りでもいいから早めにということではあるが、あまりにも空振りすぎて、どのような情報であるような事になったのか、市の中で何か話が出てますか。

○俵谷支所長

避難指示については、土砂災害区域になっている峰吉川地域に一番初めに避難指示が出ました。避難指示については、土砂災害区域に、市の本庁から指示が出されるわけですが、実際はそのような被害が無かったので、会長さんが言ったように空振りといった結果になりました。土砂災害区域については、被害が出た時に甚大な被害が出てしまいますので、指示が早めに出されるということでもあります。水が上がってきてという土砂災害と関係ないところについては、避難指示はこちらからは出ないわけですが、今回 支所対応ということで、避難所・会館等を開設しまして、自主避難という形で、希望する方については避難していただいたということでもあります。ですから、テレビに出た本庁の方からの避難指示というのは、土砂災害区域に該当するという出していたもので、ご理解いただきたいと思います。

○会 長

例えば、洪水の場合は上淀川の消防署のあたり、土砂の場合は、橋本議員宅裏山、あの辺も危険区域になっているが、それももちろん頭にありました。だとすれば、私ども自主防災とか、そういったところにある程度の連絡があれば、私どもも動ける。民生委員の会議でもそういうような話が出たようですので、もうちょっとこう連絡が上手くいけばなど。3日も流さなくても、2日ぐらいで止めてもらえれば、そういったことも出来たのではないかと正直思っているようなところで、ちょっと今聞いてみました。

○俵谷支所長

ありがとうございます。

テレビの避難指示は、指示が取り下げられない限りはずっと出てしまうことになるので、そういう状況だったということでもあります。

○俵谷支所長

峰吉川地域は全て避難指示が出ましたので、広報活動等は支所の方で行いましたが、実際に危険か危険じゃないかの判断は、同じ峰吉川でも地域によって差がありますので、消防団と住民の判断によって避難が実際はされるころだと思います。

いずれ、テレビのテロップにつきましては、本庁の方で出した避難指示もあり、指示が出ている間はずっと流れ続けるということでもあります。

○会 長

はい、分かりました。

そうすれば、この行事等については、他に何かありますか。

○安 田 正 一 委員

7月の、今のお話しに関連してですが、中淀川では実際、世代交流福祉館に避難した人がいる。避難勧告も勿論あったと思うが、この前 県の振興局にも行ってきたが、河川の無形地帯の解消を早くやってもらいたいという地域の要望もあり、常襲地になっていて、平成29年の時も世代交流福祉館に避難しているが、自動販売機は無いし、ちょっと不便な面もある。風呂とかトイレとかそういうのは十分だと思っているので、避難所の自動販売機の要望も今後していきたい。

それと、農地災害がリハセンの下、五百刈田のところ、あの辺が一番の酷いところなんですね。今回の災害の復旧対応として、農林それから河川事務所等の対応が今回すごく良かったと思います。平成29年の時も、これ以上の被害が五百刈田ならず荒川もあったが、復旧の事業としてその時は災害復旧の補助事業で対応したが、今回は補助事業でなく、事業主体全て市の方でやってくれたというようなことが、早急に復旧、農地災害ですね、出来たなと思って非常に感謝しているところです。いずれ河川の、消防分署から中村の諏訪橋まで、雨が降ればこういう状況ですので、その辺り出来るだけ早めの対応をお願いしたいなと、重ねてお願いしたいと思います。お礼も兼ねて。

○俵谷支所長

ありがとうございます。

○会 長

他にございませんでしょうか。

○加藤 弘 栄 副会長

1つ聞きたいんですが、今回そういう避難指示が出て近くの公民館等に避難した人達もいるらしく、その人達が「ここは避難所になってないのかな」と。後から聞くと、医師が回ってくる等の関係もあり、自主避難の所と市で開設した所の違いがあるんだというのを、地域住民の方も分かってないと思う。そういった内容の広報活動というか、市の方で設置した避難所に関してはこういうメリットがありますとか、ある程度教えて、皆に伝えていかなければいけないのかなというのを感じた。

それと、同じように6年前の災害があった時に、各自治会館とかに災害時の時のためのアルファ米等を備蓄しているが、チェックしていくとそろそろ期限が来るようなものも見えてくる。そういうものの更新に関しては、市や様々なところからの補助はあるものなのか。多分、皆さん自費で買わないといけないのかなというのを考えていると思うが、そういった更新等の情報があれば自主防災組織で動けるのかなというのがあります。

○俵谷支所長

今回、土砂災害の避難指示が出た区域については、安全な所ということで避難所は和ピアになっていたが、それ以外の、水が上がってきた為に近くの会館を支所の方で自主避難所として開けた所については、正式な避難指示は出ていないので、正式な避難所ではなかったわけですが、アルファ米等、各会館の方に備蓄しているものについては、消費期限・賞味期限の切れる前に更新するように、こちらの方で定期的に管理していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○会 長

避難所ということでいえば、ここあたりは和ピアが最高。

そういった意味で、調理室というのはやっぱり必要。皆で頑張って、実現できるようにやっていきたいなと思っているところです。

他に何か、いいですか。

○加藤 弘 栄 副会長

すいません、熊ですが、今ものすごく新聞を賑わせています。

協和地区で熊が出れば、小学校とかからメールが飛んできて「熊が出ました」とあるのですが、今年は高温で、山の木の実とかがあまりにも少なく、これからもどンドン街に出てくるんじゃないかって聞こえてくるので、これからの対応等どうなっているのかというところ、教えてください。

○農林建設課 佐川(悦)課長

はい、お答えいたします。

加藤委員おっしゃいます通り、熊、非常に多く出没してございます。協和地域だけで昨年 21 頭、有害駆除ということで捕獲されていた熊でしたが、昨日現在 33 頭ということで、昨年をすでに超えているという状況であります。今朝の新聞にも、境地域 13 号線で熊の目撃情報ということで、その目撃された近くのお宅から連絡があり、家で育てている柿の木に登って、枝を折って食べているというようなことで調査に伺ったところです。

先程お話しありましたが、例えばブナであったり、どんぐりであったり、山に今年は食べるものが非常に少ないということで、森林管理署の方もお話しされていましたが、そういうこともあって、里に降りてくるのではないかと考えられます。今現在、熊が発見されて、主に警察の方からの連絡で情報が来るわけですが、日中であれば注意喚起広報ということで、巡回広報しております。ただ、夜間・日没以降になりますと、熊の発見も困難になるということで、深夜時間帯に広報するというのもいろいろと問題あることなので、日が昇ってからの対応ということになっております。

広報だけでは解決しない部分もあって、協和地域で熊の有害駆除対応の檻というのが全部で 14 基あるわけですが、今現在すべて配置済みでございます。そうはいいながらも、やはり今現在ホールクロップ、WCS ですけれども、そちらの方のラッピングしたところが、天気も良いということで発酵が進んでおりまして、いたずらか分かりませんが、そちらの方に結構集まって被害も出ているという状況でございます。

いずれにしても、1 つ、食べものが山に無いということを知っていただきたいと思えます。協和地域でも 6 月 7 日に船岡地域で襲われたという被害もありました。最近であれば、近くで仙北市、結構報道されております。やはり、熊除けの鈴や、1 人よりも 2 人、出来ればそういうことで、熊を寄せ付けないラジオを持って音を出して、仕事される場合はそういう対応をいただくなど自己防衛をしていただきながら、市の方で出来る対応は市の方でやると、そういうような取組をしているということでご理解いただきたいと思えます。

○加藤 弘 栄 副会長

はい、ありがとうございます。

○会 長

先ほどの大雨の件も、それから今の熊の話も、実は その他の方で色々準備してきた話題だと思います。必然的に行事の方から、そちらの方に移ったということで理解していただいて、支所長の方で他に何かありますか。

○俵谷支所長

今年度は、地域協議会の委員の皆さんを対象とした研修会を実施いたします。詳細については担当の方からご説明いたしますが、ぜひ委員の皆様にはご参加いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○会 長

他に、各課長の方からございましたら、どうぞ。

○協和公民館 小林主幹

公民館の方から何点かご報告とお知らせがございます。

まず初めに、8月の上旬から中旬にかけて、今年度久しぶりにスポーツ合宿の方を実施しております。埼玉県の宮本ヤンキースさん、少年の野球団ですね。あと京都大学と東京学芸大学の硬式野球部が今年度スポーツ合宿で来ております。

また、9月2日に定期能公演を開催しております。こちらの方、2週間ほど前から準備しまして、片付けが終わってから2日間ほどになったわけですが、公演日だけが雨にあたりまして、大変な感じでした。入場者数は190名ほどということで、まず参加された方のアンケートを見ますと、とても感動したと、お褒めの言葉をいただいております。

また、皆様方のお手元に配布させていただきましたが、10月1日に協和市民センター和ピアにおかれまして、演劇「ウラシマコタロウ」を開催予定としております。チケットの方はまだ大量に余っておりますので、皆様、お友達とお子様とぜひご観覧いただければと思っております。

10月7・8日、土曜日・日曜日ですが、ワクチンの接種会場として和ピアの方使用予定となっております。

また、10月14日、きょうわ祭、芸能発表を含みまして、ほぼフルスペック型のきょうわ祭を開催する予定となっております。開催時間が9時からオープニング、9時半から芸能発表となっておりますので、ぜひ皆様方のご入場をお待ちしております。

あと、設備の不具合というか破損の案件がありまして、7月下旬頃の雷の影響でサン・スポーツランド協和野球場のスコアボードは今現在使うことが出来ない状況です。また照明設備ですが、6基あるうちの3基、昇降式ですが、上がらない状態で今のところ稼働しております。照明の方は点くようになりましたが、3基上がらないということで、ナイター使っている方々からは眩しいというお声もいただいております。見積り等業者の方から徴取しまして、改修に向けて進めていく予定としております。

以上、公民館からご報告させていただきました。

○会 長

事務局で何かございますか。

○事務局（ 地域活性化推進室 ） 千葉主事

事務局の方から2点、お知らせさせていただきたいと思います。

次回、第3回の地域協議会の日程についてですが、今のところ未定となっております。これから伊藤会長と相談の上、日程が決まり次第、開催通知にて皆様にお知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

2点目ですが、先程、支所長の方からもお話しありましたが、今年度の地域協議会委員全体研修会についてです。10月7日土曜日開催の「第4回 大仙アカデミー」への参加を委員研修会といたしますので、出欠の方、27日の水曜日までに地域活性化推進室までお知らせくださいますようお願いいたします。詳細については、事前にお配りしてあります青い封筒の中にチラシ等入っておりますので、そちらの方ご覧いただければと思います。

事務局からは以上です。

○会 長

はい、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして第2回協和地域協議会を終了いたします。

お疲れ様でした。

（ 午後4時23分閉会 ）

協和地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

滝 沢 洋 子

新 山 千 加 子